

## はじめに

この基本構想は、図書館市民ワークショップや市民アンケートの結果などを踏まえつつ、常滑市立図書館基本構想策定委員会（以下「策定委員会」という。）が考える理想の図書館の姿を描いたものです。

第2部では、図書館のコンセプトである「基本理念」、また基本理念を実現するための基本的な運営の方針である5つの「基本方針」を構想するとともに、常滑市にとって望ましいと考える図書館の規模・機能を掲げました。第3部「事業化の検討」の中でスケジュールを示しているのは「新たな図書館を早期に整備して欲しい」という期待の現れです。

策定委員会の中でも、それぞれの知見から多様な意見があり、一つの意見にとりまとめることまでは難しかったことから、事業化に向けた具体的な施策やスケジュールの決定など常滑市立図書館の将来を常滑市長と常滑市に託し、基本構想として提言いたします。

### 1 基本理念

## 『 知をひらき 人を育み 地域をつなぐ図書館 』

新しい図書館をつくりたいとの思いから、図書館市民ワークショップを開催しました。メンバーそれぞれが図書館についての理解を深め、普段は顔を合わせることもない人々が集い、議論を重ねる中で、多くの新しいアイデアや気づきが生まれました。本や人との出会いが知識を重ねる機会となり、対話や経験を通じて学びが深まっていく姿は、図書館が持つ大きな可能性を示しています。

今、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、より複雑で予測が困難な時代となっています。多様な情報や価値観に触れ、自ら考え、判断し、行動する力が一層求められています。私たちの図書館は、多様な「知」に触れる機会をひらき、市民一人ひとりの学びや成長を支えるとともに、誰もが安心して過ごせる居場所となり、あらゆる世代の人を育む存在であり続けます。そして、本や仲間との出会いを通じて得た学びやつながりは、年代や立場を超えて広がり、地域社会を支え、次の世代へと受け継がれていきます。



## 2 基本方針

「基本理念」を実現するための基本的な運営の方針である「基本方針」を次の5つと定め、「常滑市における課題」を解決するために必要となる機能・サービスを計画していきます（第2部第4章）。

1. 「知りたい」が見つかる図書館
2. 「行きたい」場所となる図書館
3. 子供の「読みたい」を育てる図書館
4. 誰もが「使いたい」図書館
5. 「始めたい」が広がる図書館

## 3 常滑市における課題

第1部で、常滑市や図書館の現状などについて整理を行うとともに、第2部において、図書館を取り巻く環境の変化や市民ニーズを把握した結果、「常滑市における課題」は次の7つに整理されました（第2部第3章）。

